

報 寺

傘かえで

No. 3

発行
遍照山慈光寺
久慈市大川目町
(55-2660)

位牌堂上棟式

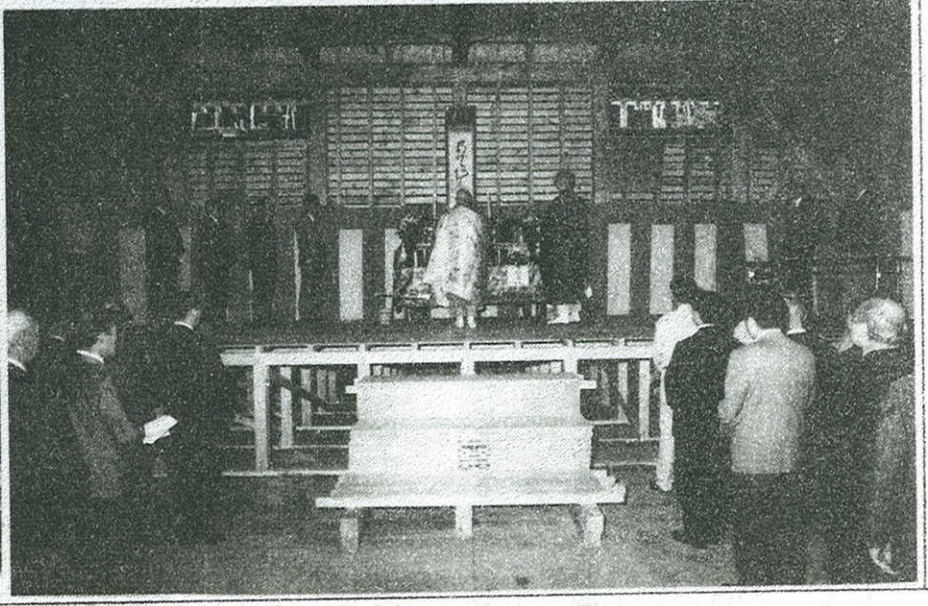
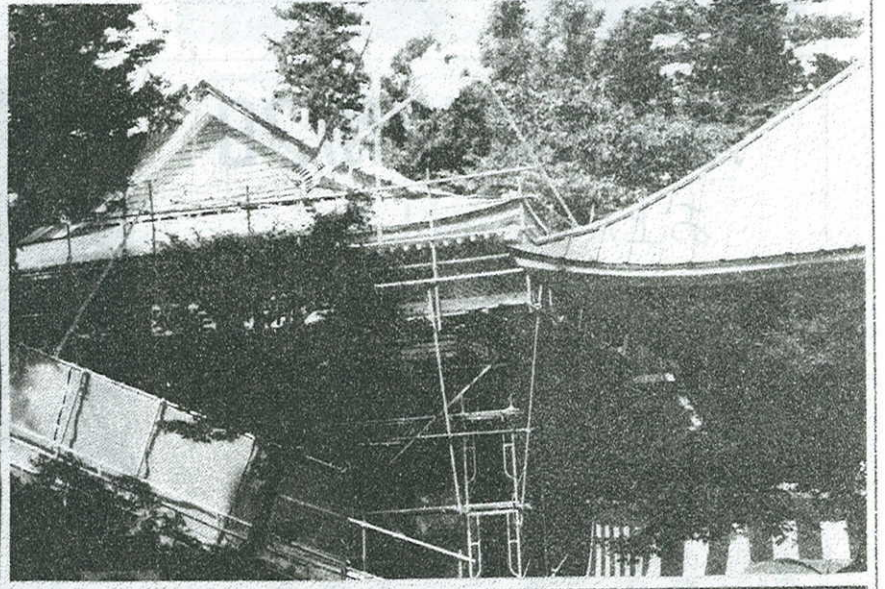
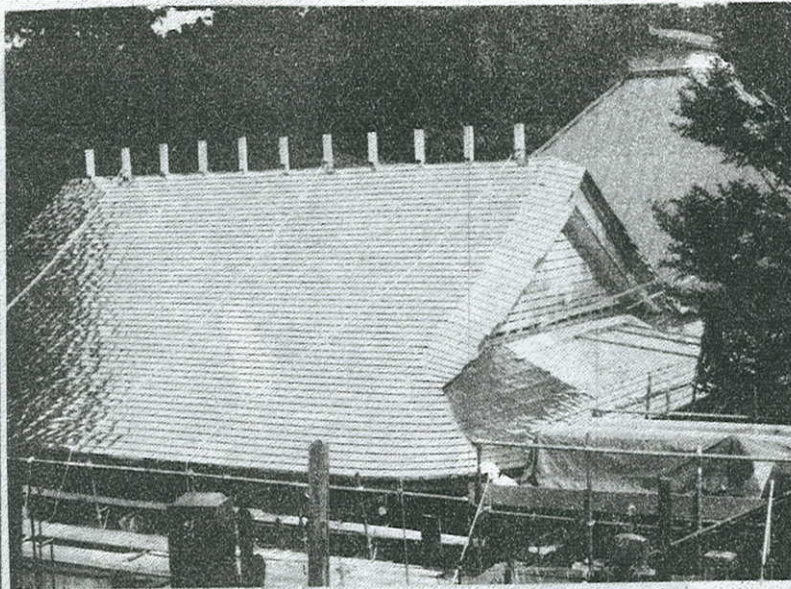
秋日和の中盛大に挙行 餅まきに湧く二〇〇人

慈光寺位牌堂の上棟式は、去る十月十日(日)、関係者約七十名の臨席を得て、盛大に行われました。仏式による厳かな上棟式の後、総代や工事関係者による「もちまき」が行われ、約二百人の一般参加者とともに、「棟あげ」を祝っていました。引き続き総代、工事関係者による「祝賀会」も行われ、お寺は一日中祝賀ムードに包まれていました。

上棟式は、午後一時から慈光寺総代世話人約五十名ほか工事関係者(新田組)等七十名余が出席し、仏式にのっとり行われました。住職、副住職による読経の後、寺の責任役員四名、新田組社長、棟梁による祈願焼香が行われました。ふたたび読経の流れの中、参加者全員が合掌して、位牌堂の建立を祝うとともに、工事の安全を祈願しました。続いて、祝賀の「もちまき」が行われました。境内を埋めた約二百人の参加の人々は、本堂の回廊から撒かれる祝い餅を追っておだやかな秋日和のもとで歓声をあげていました。

景品付のもちまきとは知らずに集まった人びとは、おもわぬ豪華な景品を手にして、大よろこび。中には、「仏様のご利益に感謝しなければ」と、本堂に向かって手を合わせる人の姿も見うけられました。庫裏で行われた祝賀会も、宿願の位牌堂実現を喜ぶ挨拶が続ぎ、早くも、落慶式の話題に花が咲くなど、喜びに包まれていました。

【写真説明】 右上・左上は、上棟式当日の位牌堂外観。右下は、位牌堂内での上棟式。左下は、餅まき。



彼岸 戦没者50回忌法要厳かに 120名による百万遍念仏 懇親会もなごやかに

慈光寺恒例の秋彼岸法要は、去る九月二十三日午後一時から、本堂で行われました。今年も、戦後五十年目に当たるとあって、「戦没者五十回忌法要」と併せて行われ、参列者約百二十名による百万遍念仏によって戦没者の冥福を祈りました。

法要は、住職・副住職と読経会会員十数名による読経から始まり、続いて、参列者全員による百万遍念仏へと進められました。

参列者の中には、大数珠による百万遍念仏は初めてという方もいて、「荘厳さに感動しました」と、感想をのべていました。

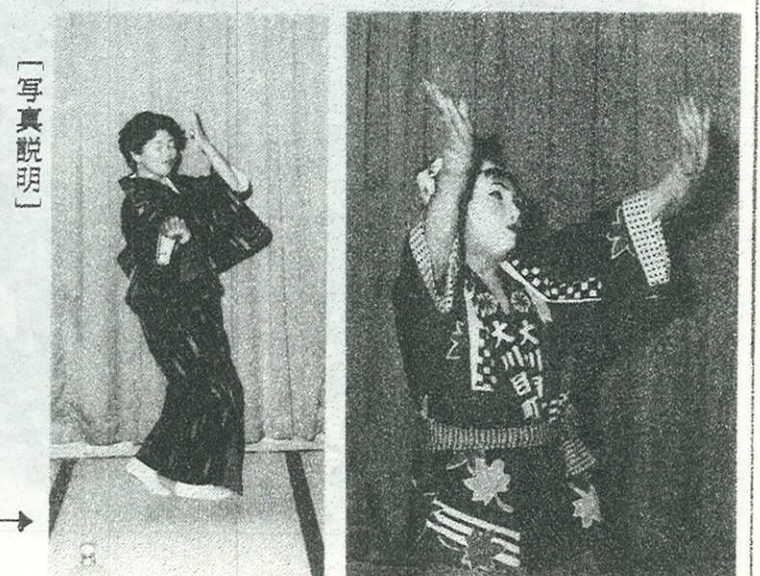
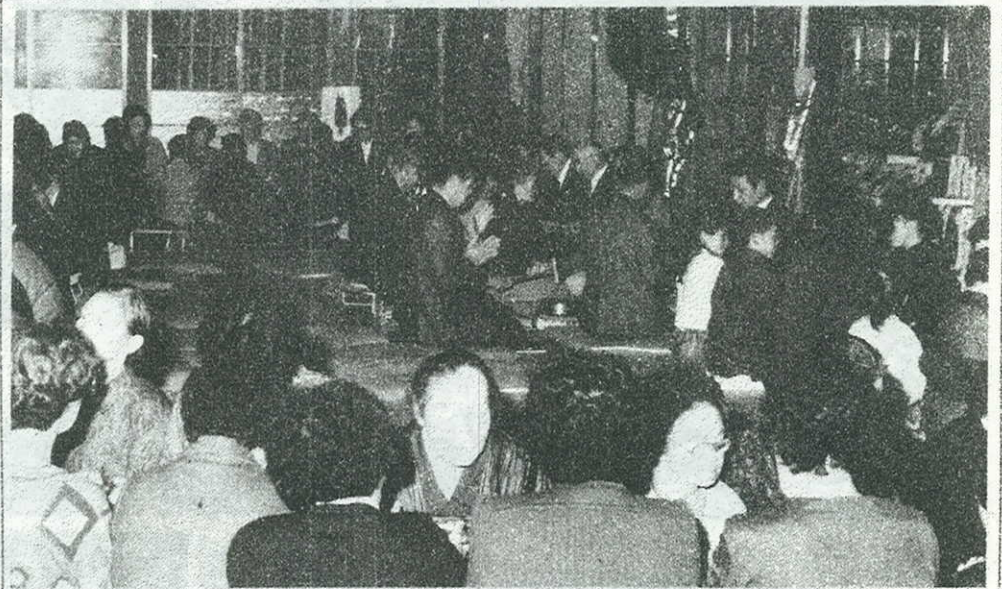
その後、檀家有志による踊りが披露され、宴は更に盛り上がりました。飛び入りの民謡や演歌なども披露され、参列者の交流も大いに深めることができました。



落慶式は12月2日

お上人をお迎えして
500名の式典を

位牌堂落慶式の日取については、かねてから、本山遊行寺その他と打ち合わせを進めています。今このころ十二月十二日(月)が予定されており、ほぼ確定視されています。位牌堂の工事は、十月中旬には終わる見通しですが、位牌の奉安申込者が現在五百五十八名もあり、建物の工



【写真説明】

参列者全員による百万遍念仏

檀家有志による踊り

特別友情出演の親子による踊り

事が完了した後に、位牌の配列その他にも、時間が必要になります。

建設委員会では、準備万端整えて当日を迎えるべく、着々準備を進めています。

落慶式には、本山から、お上人以下五名、県内外のお寺(時宗)から約十五名の和尚さんをお招きします。

また、位牌の奉安申込はもちろんのこと、広く檀家のみなさんにご案内しますので、少なくとも五百名規模の式典になるものと思われま

式典は、慈光寺本堂で行い、祝賀会は、参加希望を募って、久慈グランドホテルで行う予定です。

檀家のみなさまのご協力をお願いします。